

理学研究科放射光シンポジウム —量子物質科学のフロンティア—

2019年10月18日（金）

東北大学理学部・理学研究科合同C棟2F 青葉サイエンスホール

東北大学青葉山新キャンパスに建設予定の次世代放射光施設においては、そこで実現される高輝度・高コヒーレンスX線の特徴を生かして様々な方面における利活用が期待されています。特に基礎科学研究においては、新光源を用いた新しいサイエンスの展開と新学術分野の創生をめざした国際的研究・教育拠点の形成の期待が高まっています。本ワークショップは“理学研究科放射光シンポジウム —量子物質科学のフロンティア—”と題し、特に放射光を利用した物質科学研究において、次世代光源の活用がブレークスルーとなる課題、今後大きな展開が見込まれる研究分野、将来を見据えた物質科学研究の展望について、学内外の研究者による報告を交えて議論を行います。



（司会：石原純夫）

13:00-13:05 寺田眞浩（東北大院理学研究科長）

13:05-13:45 藤森淳（早大先進理工）

軟X線分光で見る量子物質

13:45-14:15

鈴木基寛（JASRI）

次世代放射光によるX線磁気顕微分光の展望

14:15-14:45

佐藤宇史（東北大理）

放射光光電子分光で探る新奇量子物質の電子状態

14:45-15:15

山崎裕一（物材機構）

次世代放射光施設で期待される共鳴軟X線散乱による
拡張多極子のイメージング

15:15-15:35

休憩

（司会：大串研也）

15:35-16:05

瀧宮和男（東北大理）

有機半導体デバイスにおける分子配向

16:05-16:35

高橋幸生（東北大多元研）

X線スペクトロタイコグラフィとデータ科学の連携による
構造機能相関の可視化

16:35-17:05

若林裕助（東北大理）

情報科学と放射光科学の結合による界面構造解析

17:05-17:35

藤田全基（東北大金研）

量子ビーム融合利用における放射光X線への期待

17:35-17:40

おわりに 大串研也

主催：東北大学大学院理学研究科

共催：東北大学多元物質科学研究所、東北大学光・量子ビーム科学連携推進室

お問い合わせ：石原純夫, E-mail: ishihara@cmpt.phys.tohoku.ac.jp